
ぽぽ日記...恐らく青春？

テラ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ぼぼ日記・・・恐らく青春？

【Nコード】

N3791Y

【作者名】

テラ

【あらすじ】

主人公たちは自由に姿を変え、一定の能力の範囲内では人間以上の力を持つ高尚な伝説の生き物ティキュア・・・の、ハズなのですが。

彼らはとある大きな島の孤児院の学校で・・・まあ、いろいろとやっていますよ。いろいろとね。

はじまります・・・なにが？（前書き）

雪つなぎの789倍はギャグですよ。

はじまります・・・なにが？

ああ、えと、こんにちは。マナって言います。今日は良い天気ですね。ほら、天気予報もいい感じに「今日は台風が直撃します。皆さん注意してください」言ってるでしょ？・・・え？何か聞こえたって？気のせいでしょ。

うん、576%位の確率で気のせいだね。さ、それはともかく。ぶっちゃけ私、何もせずにぐーたらしてる学生なんですよ。そう、例えばクラス全員で授業中脱走したり、校舎壊したり、それで釘バツト持った先生にシバかれたり。ね？ふつーでしょ？

でもね、いつも変な薬作って騒ぎ起こしてる友達に、あんたのその日記を公式発表したらウケるわよって言われまして、こうして公式発表の階段を登ってるって訳です。

大さじ五百二十三杯分のヒマと広い心を持つ聖者さんは見ていてね。生暖かい目で。

ではこれで。

さて、と・・・

「ねえフローラ！？これでいいの？」

「ゴメンなさい、マナ！今それどころじゃ無いわ！」

「え？どうして・・・ひええ！？アレは“伝説の釘バツト教師リターデさん”じゃ！？何したのよ！？ま、まさか、誰かフローラの薬で倒れたとか？」

「ちよつと理科室爆発させただけよ！失礼ね。じゃ、よろしく！」

「え！？あ、ちよつと．．．」

「貴様も共犯かあ！」

「ち、違．．ぎゃあああああああああああああああああああああ
ああ！？」

はじまります。

はじまります．．．なにが？（後書き）

青春ですねえ。作者はさすがに爆発はおこしてないです。え？なんかやらかしたこと自体はあるのかって？それは．．ひ．み．つ（笑）

アイツの名前は変たi・・・（前書き）

今日の出来事。学校から帰る、犬がゴミ荒らしてる、すやの焼き
鳥どんを食べる。犬を散歩、洗う。

「ほら、ブルブルして!」

ブルブル（びしゃびしゃっ）

・・・水かけるとは言っていないぞ・・・

アイツの名前は変たi・・・

今現在の季節は春。この島の木々も賑やかな花を溢れんばかりに咲かせ、暖かい風がその花びらを舞い上げている。こんな中、学生寮から学校まで、てくてこと歩いていけるのはとても気持ちいい。ああ、気分も最高。・・・あ、ちなみに、新学期早々木の影で何かしてるアレを見なければの話だけど。

アレってのは、ぐしょぐしょに汚れた白い花嫁衣裳を着てグラサン装備、ドデカイ通信器を持った・・・男・・・？え？あれ女物だよな？おかしいよね？まあ、気にしちゃダメか。怪しいひとには近づかない。

「燻製危うきに近寄らず・・・だよな！うん！」

そう言つてショートカットの空色の髪を持つ少女はさつさとその場を立ち去った。

ついでに言つと皆さん、「君子危うきに近寄らず」です。燻製は勝手に走りません。

テストで書きちゃダメですよ。ちなみに彼女はテストでこれを書きました。

さ、それはともかく。少女は校舎にたどり着き、軽い足取りで窓から教室にひょいっと入りました。

「おはよう・・・ん？ねえ、窓のふち、皮がむけてるけど。なおしたら？」

そう言つて彼女がぺしぺしと叩いたのは・・・はておかしい、木の洞の入口です。改めて「教室」を見てみると、それは巨大な木の洞で、平らなでっぱりで作られたイスと机が並んでいます。

そう、彼女の通う学校の校舎は巨大な木そのものなのです。木の根元から階段状にあいた洞が各教室まで繋がっています。でもこれ

・フツ―ありえませんか。なんでこんなふうになんて

「そこがむけるのは、あんたみたいのがそこを入口にするからだと思っけど、ねえマナ？」

そう言っで登場したのは綺麗な長い茶髪に二つの花飾りをつけた少女です。結構美人です。

「・・・だつて、階段登るの面倒くさいじゃない。」

え・・・ちよつと待てマナとやら。キミはこの巨大な木の幹を登つて来ているとでも・・・

「まあ、確かに階段なんか登らなくてもあんたは飛べるものね、楽でいいわあ・・・なんてね、なおしてあげるから、ちよつと離れなさい。」

え！？飛べるの！？ピ―ーパン！？

「うるさいわね作者S。あんたも離れなさい。」

はい、すみません。てか、どうやってこつち（三次元）に干渉して・・・

「そこは気にするな、てかうるさいよ？」

はい。ごめんなさい。

「さて、じゃあやるわよ・・・」

作者Sを黙らせてスッキリした茶髪少女は窓のふちに手を置いて、何かを呟きました。すると・・・！

「これでいいかしら？」

なんと！傷ついていた木の皮が綺麗に治っています！ついでに新芽が出てます。これは一体・・・！

「ま、こんなモノかしらね。」

茶髪少女は大したこともなさそうに髪を後ろにサラツと流しました。そうめんみたいに。すると、そうめん茶色だから蕎麦？の間に鈴を付けた尖った耳が現れました。それは、いわゆるエルフやゴブリンの耳のようで、人間のモノではありませんでした。果たして、この少女の正体は！？続きはWEBで

え？皆さん何ジト目で見てるんですか？え？タネ明かせて？明

かさなかつたら？

（ ） なんか作者sを怖がらせるお好きなセリフをどうぞ

へ例：関節技決めるよ（b y友人M）・ねえ、カッターとハサミ、どっちにする？（b y友人H）・考えてみりゃ恐ろしい友人だらけだなあゝ

え、あ、そうですか。すみませんわかりましたタネ明かしますよ。彼女たちや自由に姿を変え、一定の範囲内で強い力を発揮する生物「ティキュア」なのです。例えば、さつき出てきたマナの空を飛ば力とか、茶髪少女の木を治す力とか。ついでに、校舎や学生寮は茶髪少女みたいのが苗木を育てて意のままの形にしてきたものなのです。

そしてここは、親が死んでしまったティキュアや、人間の孤児を集めて育てている島の孤児院「フィリア・グラン学園」略してFG学園なのです。ok？わかりました？

え？最初に説明しろって？そんなの・・・面倒に決まってるじゃないですか！！！！

（ 皆さんによる作者ボコリtime ）

そ・・・それでは（ゴホッ）話を戻し（パキパキポキ）ます（ドサッ）

作者s、五秒ほど死亡。墓は要りません。散骨にしてください。これ本心。

あ、皆さんこれは笑っちゃダメですからね？犯人皆さん設定ですからね？

と、いふわけで・・・

「ありがと、フローラ！これで先生に怒られずに済むよ！」

「いいわよ別に。大したことじゃないでしょ？・・・あら？」

フローラ（ただ今判明）は森の水たまりみたいに綺麗な緑と茶色の目を潜めました。視線は、窓の外に向いています。

「？どうしたの」

「ん、アレ・・・何かしら」

彼女が指さしたものは・・・

次回、「虚構に隠された真実」！「アレ」の正体とは！？

・・・真実が今、明かされる・・・！！

あれ？このタイトルカッコイイかも。まあ、たいていの人「アレ」の正体わかってますよね？

では次回（＊、＊）

*タイトルと

内容は変更する恐れがあります。

アイツの名前は変たi・・・(後書き)

ちなみに友人H イリアスだったり。

悪戯も青春のうち（前書き）

なっなんと！作者は恐ろしいことに気がついてしまった！！

．．この前、理科室で爆発起こしたことないとか書いてしまいましたが、実はイカの目玉を爆発させて白衣がすごいことになった事がありました。

いや．．．お恥ずかしい。

悪戯も青春のうち

前回までのあらすじ

主人公マナと友人フローラ（本名トウリ）は窓の外に不審なモノを見つけた。

以上。

「アレ．．．何かしら．．．？」

フローラが指さしたのは、

（元）白い女物ドレス、サングラス、ドデカい通信器、

坊主頭の、男。

．．．ふむ．．．．．

「フローラ、アレ．．．は．．．あああああああああああ
あああああ！？」

「あら、どうかしたかしら？」

「ちよっ、ちよっとソレ！？」

ソレ。それは、天から舞い降りたる神．．．ではなく。

^{フローラ}神に制裁を加えられたアダムとイヴ（のあの人。）であります。
ちよっと惜しかったね。

制裁つてのはフローラの指から発生した（ティキュアは一定の範囲内で姿を自由に変えられるのだ！）いわゆるツルのムチに頭からぶつ刺さること。下界に追放されたほうがどんなにマシか。

フローラは横で呆然とするマナと野次馬をガン無視して軽々と男を教室まで持ち上げました。

そのまま彼のポケットを探り始めます。最初はヤバイと思ったケド、楽しそうなのでこれにはみんな参加します（コラ）

通信器 無言で大破させました。マナが。
大人向け写真集 野次馬が燃やしました。
今年からの教師免許しょ．．．！？

最後の一つを見たクラスの空気が固まりました。あ、これは．．

「マナ．．．」

「フローラ、みんな．．！」

「．．．．（コクリ）」

何でもやらかすこのクラス。F組が心をひとつにして、

今．．．！！！！

「せーのっ．．．」

「「コイツヲケスツッ！！」」

ガラガラッ

．．．．．
．．．．．
．．．．．ん？

「皆さん、おはようございます」 担任登場

「．．．．．」

「．．．．．」

「．．．．．」

「「ぎゃあああああああ！？」」「」

なんでよりによってこんな時に！？

突如現れた担任。F組のみんなはこの事態にどう対処するの
かつ！（なんか魔王登場みたい）
次回、「みんなの絆」！！

・！！

・・・・絆が今、心をひとつに・・・

え？カツコよく決めてごまかそうだったってそうはいかねえって？
いいじゃん、青春なんですから。（は？）

*タイトルと内容は変

更する可能性が278%ほど。

悪戯も青春のうち（後書き）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3791y/>

ぱぱ日記...恐らく青春？

2011年11月21日12時35分発行